



小松 均

生誕120年
海杜コレクションで見る
Komatsu Hitoshi:
The Hermit Painter Captivated by Nature

自然を愛した画仙のまなざし

2021. 3.20 sat » 5.9 sun

【休館日】月曜日（ただし5月3日（月・祝）は開館）、5月7日（金）
【開館時間】10:00～17:00（入館は16:30まで）

入館料＝一般1,000円 高校生・大学生500円 中学生以下無料

*障がい者手帳などをお持ちの方は半額。介添えの方は1名無料。

*20名以上の団体は各200円引き。

主催＝海の見える杜美術館

後援＝広島県教育委員会、廿日市市教育委員会

海の見える杜美術館
learn from nature and pursue art & culture





生誕120年 海杜コレクションで見る

小松均

自然を愛した 画仙のまなざし

小松均（1902～1989）は、山形に生まれ、1920年に東京に出て川端画学校で絵を学び、後に京都の土田麦麿を訪ねその門下生となって活躍しました。早くから水墨画に興味を持ち、強い墨線による独特の描法はある種の土俗的な魅力をたたえるものです。そのような小松の絵は同時代の画壇で異色の存在感を放ち、帝展や院展で入選を重ねます。戦後、京都・大原に転居してからは自給自足の生活をしながら作画活動を続け、世俗とは無縁の暮らしぶりから「大原の画仙」とも呼ばれました。

今回の展覧会では、小松の生誕120年にあたり、その芸術の真骨頂である風景画のひとつ『伊豆岩山風景』や、終生愛した大原の風物を描いた『牛と大原女』、花や女性を描く50点を超える版画作品などからなる、海の見える杜美術館が所蔵する小松均作品をご紹介します。



- 1.『伊豆岩山風景』昭和15年(1940)
- 2.『石廊崎』昭和15年(1940)
- 3.『舞妓(花火)』昭和51年(1976)頃
- 4.『水蓮』昭和51年(1976)頃
- 5.『牛と大原女』昭和19年(1944)頃
- 6.『四季山水図』昭和時代

◎イベント情報

■当館学芸員によるギャラリートーク

日時=4月3日(土)、5月1日(土) 13:30～(45分程度)
会場=海の見える杜美術館 展示室
参加費=無料(ただし、入館料が必要です)
事前申し込み=不要

■当館学芸員によるミニスライドレクチャー

日時=4月17日(土) 13:30～(60分程度)
会場=海の見える杜美術館 講座室
参加費=無料(ただし、入館料が必要です)
参加人数=5名程度
事前申し込み=不要

◎同時開催

■香水瓶展示室

海の見える杜美術館が、長年にわたり収集および調査をいたしました香水瓶コレクションより、厳選した香水瓶をいつでもご覧いただけます。

《セント・ボトル》
イギリス チェルシー、
1755年頃、軟質磁器



■竹内栖鳳展示室

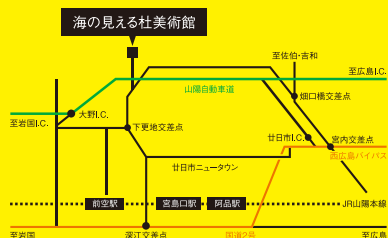
名画ができるまで 一下絵を中心に一作品制作の過程で生まれた、栖鳳のスケッチや下絵類を中心に展示し、制作する上で画家が対象をどのようにとらえ、どこに工夫を凝らしたかをご覧いただけます。あわせて、当館所蔵の栖鳳の名品も展示。自由闊達な筆致による作品と、作品に至る礎であるスケッチや下絵を、どうぞお楽しみください。



竹内栖鳳 《家兎》 昭和9年(1934)

ご来館の皆さまへ

当館では、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を行っております。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。
臨時休館や、イベントを中止・変更する場合がございます。詳しくは、当館ホームページをご覧ください。



■アクセス情報
山陽本線「宮島口駅」または広島電鉄「広電宮島口駅」からタクシーで10分
山陽自動車道「大野J.C.」から車で約10分
■タクシー-来館特典
タクシーでご来館の方、タクシー1台につき1名入館料無料。
*当館ご入場の際に当日のタクシー領収書を受付にご提示ください。

海の見える杜美術館
learn from nature and pursue art & culture

〒739-0481 広島県廿日市市大野亀ヶ岡10701 Tel: 0829-56-3221
E-mail: info@umam.jp http://www.umam.jp